

共同生活援助（障害者グループホーム） 施設整備事業説明資料



社会福祉法人睦月会

2022年7月吉日

社会福祉法人睦月会とは



- 平成12年（2000年）11月に障害者を持つ親の会が基盤となり発足しました。知的障害、身体障害、重症心身障害をお持ちの方、子どもに対する福祉サービス事業を実施しており、国立市、大田区、西東京市、三鷹市、江東区で27事業を運営しています。
- 大田区内では大田区立大田生活実習所(萩中二丁目)や就労継続支援B型事業Beステーション凜(下丸子四丁目)や共同生活援助Pastel Living 鶉の木(鶉の木三丁目)を運営しています。
- 『ライフステージをつなぐ生涯支援』や『地域で生まれ、地域で育ち、地域で最後まで生きていく地域生活環境支援』の具現化を目指して運営を行っています。

運営における基本方針



- 障害者総合支援法のサービスを基盤に制度改正への対応も視野に入れ活動の充実および発展をさせます。
- 長期(生涯)にわたり本人、家族の安心感を確保します。
- これまで培われた地域との関係性を大切に、地域連携、市民協働近隣施設と事業所間連携を重視します。
- 専門医療機関、専門家との連携によるきめ細かなサービスを提供します。
- 質の高いサービスの提供に努めます。
- 『オール大田』のシステム構築を目指します。

グループホームとは



グループホームは、障害のある人が共同で生活されるお家です。このグループホームは、主に重度の知的障がい者（身体障がいを併せもつ者も含む）5～7名のお家になります。

支援スタッフが生活のサポートをさせていただきます。

サービス名は『共同生活援助』といいます。

○重度の障害者とは

- 移動や食事・排泄・コミュニケーションなどの日常生活の場面において、常時介助を必要としている方です。
- 簡単な会話は可能ですが、書いてある言葉や数、金銭について理解するのが難しく、一人で行動するのは困難です。このため常時、ご家族や支援員などの付き添いや補助が必要となります。
- 最重度の方では、言葉を話すのも困難になりますが、身振りや絵カードなどで意思疎通が可能な場合もあります。身の回りのことや、生活全般の介助や見守りが常に必要になることもあります。

○建物概要（予定）



構造	鉄筋コンクリート造（耐火建築物）			
建築面積	121.00㎡			
延床面積	342.00㎡			
高さ	9.95m（3階建て）			
設備	スプリンクラー	自動火災報知設備	防犯カメラ	駐輪スペース
	ピロティ	室内エレベーター	一般浴槽	機械浴槽
	多目的トイレ	洗濯室	キッチン	居間・食堂
	事務所	スタッフルーム		居室

○設計コンセプト

ユニットの玄関扉には電気錠を設置し、利用者の安全を図ります。
入口等に防犯カメラの設置、警報装置の設置を行い利用者の安全を図ります。
建設工事は防音、振動対策を行います。

○借受期間

定期借地権設定契約として50年間を予定しています。
大田区の公募要項に基づき定められています。

○事業内容



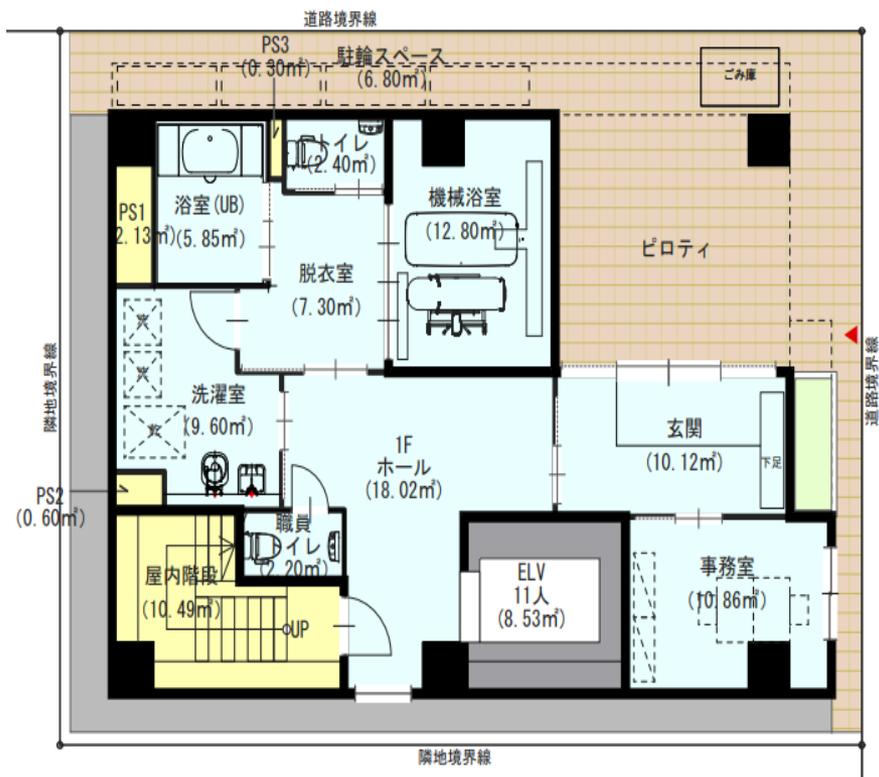
定員	5～7名
入居者	主に重度の知的障がい者（身体障がいを併せ持つ者も含む） 障害支援区分5から6程度
職員体制	管理者、サービス管理責任者、世話人、生活支援員

- 入居される5～7名の方の自宅としての機能と役割を担っていきます。
- 主に平日の朝と夜間および休日に入居される方の生活の支援をおこないます。
- 基本、常時2名以上の職員で入所者の支援にあたります。夜間帯は職員1名。
- 平日は朝から夕方まで通所事業所に通り過ごします。
朝に通所先が迎えに来て通所して、夕方に帰ってきます。
入居者が通所している間に職員が掃除や洗濯、食事の仕込みなどの生活を送るために必要な家事支援などをおこないます。
- 体調不良などで通所先に通えない場合はグループホーム内で過ごします。

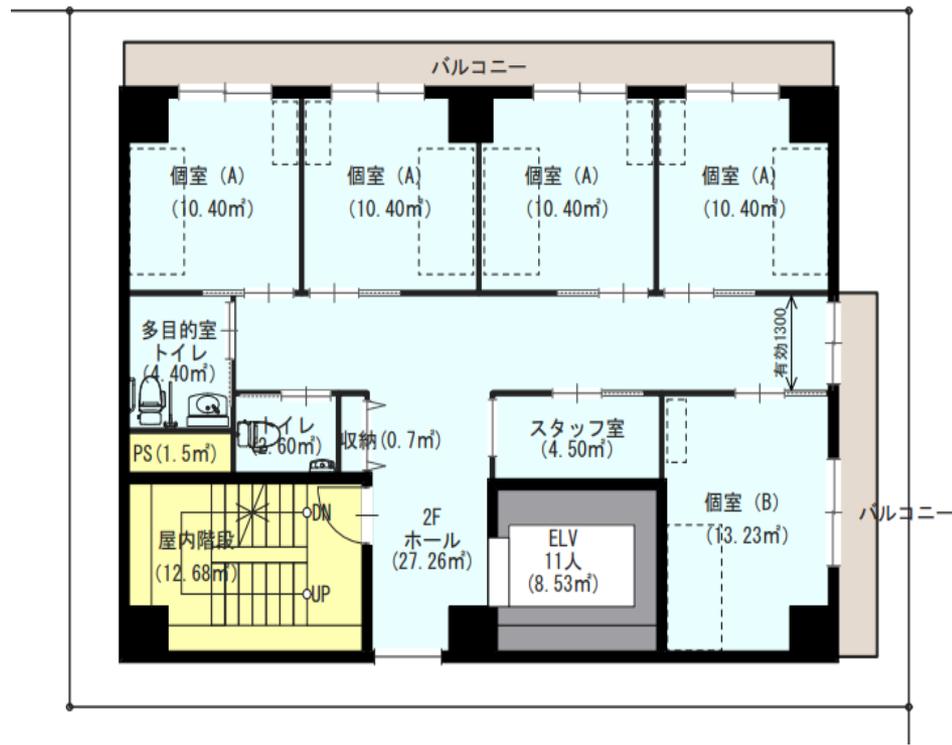
施設内 平面図 (予定)



1階平面図

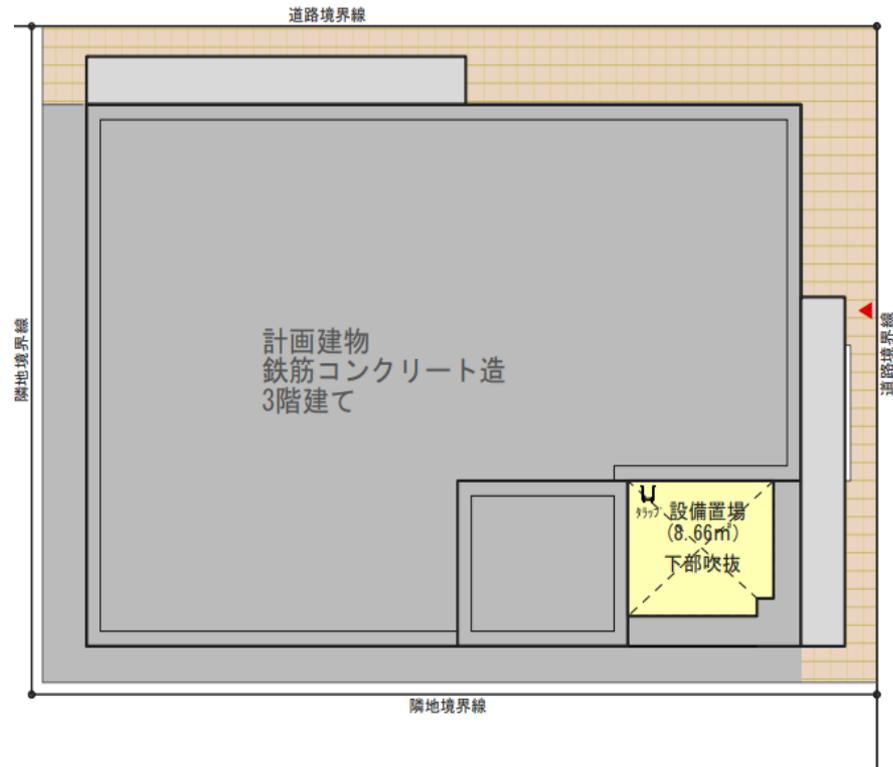
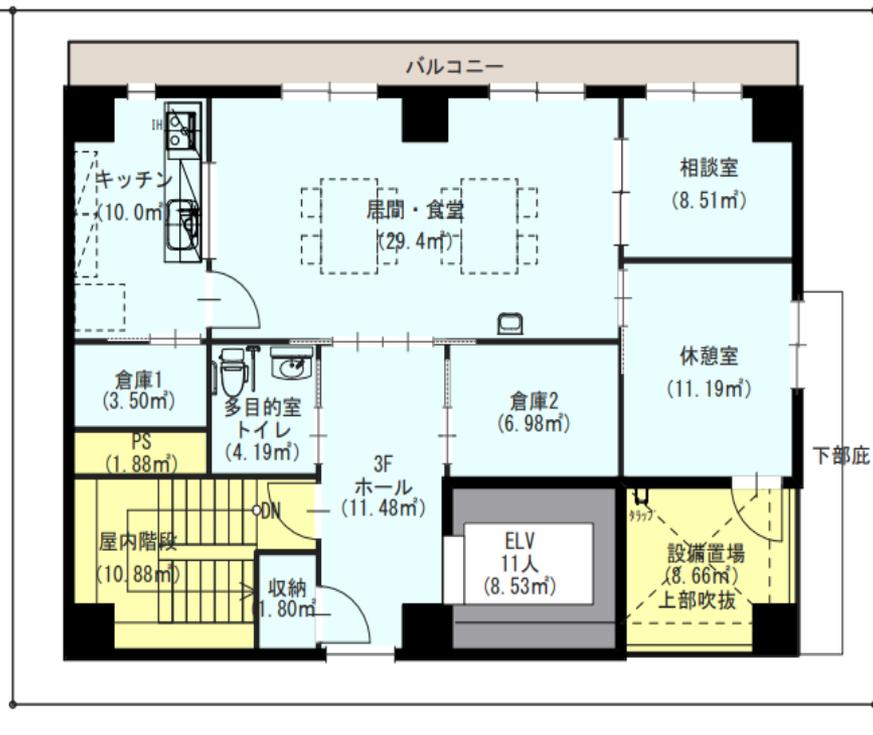


2階平面図



3階平面図

屋上階平面図



○工期 (予定)

令和5年2月頃解体工事開始、令和5年11月頃竣工見込。令和6年5月頃開設。
建築資材の関係上、変更する可能性があります。

利用者の一日（例：平日朝～午前）

必要な介護。支援の内容など

7:00 起床

バイタルチェック（検温・心拍数・血圧・呼吸数）
排泄誘導・支援 更衣・整容支援



8:00 朝食



食事介助・支援
口腔ケア

通所準備支援

9:00～ 通所

日中は通所施設等
活動場所へ通所



利用者の一日(例：平日午後～夜間)

17:00 帰宅

排泄支援
水分補給等



18:00 夕食



19:00 入浴

食事介助・支援 □腔ケア

入浴介助、水分補給等



～余暇を過ごす～



22:00 就寝

定時巡回
適宜、排泄誘導・支援



